

## 瑞浪超深地層研究所・東清水変電所及び浜岡原子力発電所を視察

平成 28 年 9 月 28 日（水）～29 日（木）

三重県商工会議所連合会は、平成 28 年 9 月 28 日（水）～29 日（木）、社会を支える電力のさまざまな側面について見聞を広めるため、瑞浪超深地層研究所（瑞浪市）、東清水変電所（静岡市）及び浜岡原子力発電所（御前崎市）へ、県内商工会議所専務理事ら 13 名による視察を実施しました。

28 日は瑞浪超深地層研究所を視察し、担当者から使用済み核燃料の高レベル放射性廃棄物を地層に安全に処分するための調査研究施設であること、廃棄物を閉じ込めるガラス固体化、深度 300 メートルや 500 メートルの研究坑道の掘削、地下水の変化調査などについて説明を受けた後、掘削施設などを見学した。



▲超深地層研究所で施設の説明を受ける様子



その後、東清水変電所を訪問し、東日本 50 ヘルツと西日本 60 ヘルツの周波数が異なる地域間の電力不足を融通するための周波数変換技術の説明を受け、実際に周波数変換設備を見学した。

◀ 白衣に着替え、直流から交流、交流から直流に変換する装置を見学する様子

29 日は浜岡原子力発電所を訪問し、厳重なセキュリティーチェックの後、想定される津波対策として、海拔 22 m 総延長 1.6 km の防波壁、原子炉建屋防水構造扉、電力の供給が途絶えたことを想定した非常用ディーゼル発電機や軽油タンクなど、万が一に備えた対策や数々の機能を見学した。



▲浜岡原子力館で施設の説明を受ける様子